



主な内容

巻頭言—— 図書館長就任挨拶
学生部長就任挨拶
健康管理センター長就任挨拶
総合情報センター長就任挨拶
キャリア支援センター長就任挨拶
いわて東北メディカル・メガバンク機構長就任挨拶

特集—— 岩手医科大学を支える新たな仲間たち

令和6（2024）年度決算

令和7（2025）年度予算

トピックス—— 看護学部宣誓式が挙行されました

募金状況報告

表紙写真：ふれあい看護体験の一環でドクターヘリの見学をする高校生ら
（関連記事P.14）

図書館長就任挨拶

図書館長 原田 英光

(解剖学講座発生生物・再生医学分野 教授)



令和7年4月1日付けで図書館長を拝命致しました原田英光と申します。

本学図書館は、北東北において唯一の医歯薬看護学部を備えた医療系総合大学として、専門性の高い書籍や雑誌、電子資料を充実させてきました。国内外の医療系のデータベースや電子ジャーナルにアクセスでき、最新の医療情報や研究情報を得ることができます。さらに学生や教職員向けに学習スペースやグループワーキング、閲覧室を整備して学習や研究活動をサポートしています。今後もこの役割は変わらず維持していかねばなりません。一方、今年度は図書館の運営においても大きな改革を迫られています。現在図書館は矢巾キャンパスと内丸キャンパスの2カ所にございますが、内丸メディカルセンターの矢巾への移転も予定されており、図書館のあり方についても検討しなければなりません。歯科医療センターと歯学部5、6年生の学修の場は内丸で継続されますので、

それに見合った体制が必要になると思います。また本学の蔵書は、矢巾キャンパス、内丸キャンパスそして現前閉鎖中の本町キャンパスにもございます。永い歴史ある本学において図書もまた蓄積された貴重な財産として、これらをどのように管理し活用していくかも大きな課題です。

デジタル社会の中で図書館の役割も大きく変わり、図書館は単なる「本を借りる場所」から進化し、知識・学修・交流・想像のハブとしての役割が重要視されています。資料はできるだけクラウドベースで提供し、物理的な場所に依存しないアクセスを可能とし、ユーザーのニーズに応じてパーソナライズされた資料や学習プランを提案できるような、情報ナビゲーター・コミュニティファシリテーターを目指していければと思います。是非、皆様方と未来の岩手医科大学図書館像を考えていきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

学生部長就任挨拶

学生部長 木村 英二

(解剖学講座人体発生学分野 教授)



このたび令和7年度より、学生部長を拝命いたしました木村英二と申します。私は新潟大学医学部を卒業後、解剖学を専門として20年にわたり本学にて教育・研究に従事してまいりました。現在は、主に医学部1・2年生を対象に肉眼解剖学に関する教育を担当しています。解剖学実習は、すべての臨床医学の基礎となる学問であり、また生命の尊厳を学ぶ場でもあります。実習を通して自ら主体的に学び、他者への敬意と配慮をもって行動できる学生の育成を目指しています。

ご存じのように本学は医・歯・薬・看護の四学部からなる医療系総合大学で、多くの学生達は国家資格取得を目指して日々努力を重ねています。その過程で学業や進路、人間関係など、さまざまな困難に直面していきます。学

生部は、学生一人ひとりが安心して学び、前向きに大学生活を送ることができるよう支援する全学横断的な組織です。健康管理センターや臨床心理士の皆様とも連携し、心身のケアに万全を期してまいります。一方で近年、SNSをめぐるトラブルや様々な不適切行為など、学生の倫理観の低下が懸念されています。医療人に求められる自律心と倫理観を、日頃の教育活動を通じて涵養するよう指導していくことがより求められています。

学事課、健康管理センターの方々、各学部の学生部長の先生方、そして大学全体の教職員の皆様のお力をお借りしながら、学生部長としてこの重責を全うしていく所存です。今後ともご指導・ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

健康管理センター長就任挨拶

健康管理センター長 川田 一郎

(内科学講座呼吸器内科分野 教授)



このたび石垣泰先生の後任として、令和7年4月1日付で健康管理センター長の重任を引き継ぎました。岩手医科大学の健康管理に尽力いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

健康管理センターは、学生、職員の皆様が健康な生活を送れますことを目的としております。皆様の日々の健康と安心した暮らしがあってはじめて、岩手医科大学は教育、研究、医療を通じて社会への貢献を実現することができます。健康診断は最も大切な活動の一つです。全ての学生、教職員を対象とした定期健康診断の他、特殊健診や特定業務従事者健診を実施しています。昨年度の病院職員の定期健康診断受診率は100%を達成しております。忙しい日常業務等の中、健診を受けていただきまして感謝申し上げます。次に大きな活動が予防接種です。実習前の学生や抗体価が低い教職員に対し、感染を防止

するためのワクチン接種を行っています。インフルエンザワクチンは、職業感染防止の徹底の面からも確実に実施していく必要があります。また産業保健活動としての大きな役割を担っております。休職からの職場復帰や長時間労働に関して、産業医や保健師による面談を行っています。心身の健康に関する健康相談も大切です。学生の皆さんは一人暮らしや大学生活の中で、体調に不安を感じ悩まれることがあると思います。職員の皆様は忙しい日常業務の中で体調管理を不安に思われることもあると思います。そのような時には是非ご相談ください。

皆様が健康でいきいきと学校生活や職業生活を送ることができますよう健康サポートを行って参ります。微力ではございますが尽してまいります所存です。どうぞ皆様のご指導ご協力ご支援を心よりお願い申し上げます。

総合情報センター長就任挨拶

総合情報センター長 櫻庭 実

(形成外科学講座 教授)



令和7年4月1日付けで、岩手医科大学総合情報センター長を拝命いたしましたので、紙面を借りて学内の皆様にご挨拶を申し上げます。

本学は2019年の附属病院機能の大部分を矢巾へ移転して以来、COVID-19のパンデミックや物価の高騰など、様々な困難に見舞われてきました。現在の本学の最大の課題は移転に伴う借金の返済と、医薬品費や医療材料費の高騰による医業支出の増大による慢性的な赤字体質です。これまで各学部および附属病院で連携して経営対策を行ってきましたが、まだ明るい見通しは見えません。

一方、総合情報センターの役割は、本学の学術および医療情報のネットワーク、サーバーシステムを安全に維持管理することです。これらはコンピューターやサーバ

機器に代表されるハード部分と、電子カルテシステムに代表されるソフト部分で成り立っています。ソフト部門は定期的な保守・更新を行い、安全に運用する環境を確保する必要があります。またハード部門は物理的な劣化が避けられず、通常7～8年の間隔での機器更新が必要であり、いずれも一定のコストが生じます。

この赤字体質の中での情報センター長の役割は、運営に係る経費削減につぎと考えています。情報機器の更新には数億円から数十億円の出費が必要ですが、可能な限り出費を抑えつつ情報事故が発生しないよう、安全な運用を目指していく所存です。経費削減に伴い学内の皆様には様々なご不便をおかけする可能性があります。本学の赤字体質の改善を目指した情報センターの運営にご協力をお願い申し上げます。

キャリア支援センター長就任挨拶

キャリア支援センター長 遠藤 龍人

(看護専門基礎講座 教授)



本年4月より、前任の工藤賢三教授から引き継ぎ、キャリア支援センター長を拝命いたしました。本センターは、平成22年に「学生の社会的自立に向けた実践的な能力形成と就職活動などを支援すること」を目的として薬学部1期生の卒業に合わせて設置され、1300名を超える薬学部卒業生のキャリア支援を行って参りました。平成29年に新設された看護学部が加わり、5期生までの約450名の卒業生の就職活動をサポートしてきた実績を有します。15年の歴史を振り返りますと、初代センター長として礎を築かれた西郡秀夫名誉教授から数えて6代目となり、創成期と過渡期を経た成熟期を迎えたと言えます。

学生が自身の可能性を最大限発揮し、充実したキャリア

を築いて行くためには、内的動機を育むことが大切です。本学は医療系大学のため、資格取得を前提とした進路が想定されますが、入学後に現実と直面して悩む学生がいるほか、過密な学修スケジュールと相俟って将来への意識が希薄になる学生も少なくありません。そのため、学生一人ひとりの「学び」や「経験」、「価値観」を尊重しつつ、医療職に就く意義や主体的に取り組む自律性など、職務特性理論に基づいた支援が求められます。

医療系総合大学である本学が、やりがいを持って社会に貢献する人材を育成・輩出し続けることを目指すとともに、学生の拠り所となる手厚いサポートを続けて参りますので、キャリア支援センターの活動に引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

いわて東北メディカル・メガバンク機構長就任挨拶

いわて東北メディカル・メガバンク機構長 丹野 高三

(衛生学公衆衛生学講座 教授)



この度、令和7年4月1日付けをもって、佐々木真理先生の後任として、いわて東北メディカル・メガバンク機構長を拝命しました、統合基礎講座衛生学公衆衛生学講座の丹野高三です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

いわて東北メディカル・メガバンク機構 (IMM) は、東北大学東北メディカル・メガバンク機構 (ToMMo) と連携・協力し、ゲノムコホートとバイオバンクを大きな2本柱とする東北メディカル・メガバンク計画 (TMM計画) を運営しております。IMMでは、2013年度から現在まで、岩手県沿岸被災地域を中心に3.2万人の皆様を対象に地域住民コホート調査を行っております。この場をお借りして、調査にご協力いただいた皆様をはじめ、ご協力、ご支援いただいております大学教職員の皆様に

心より感謝申し上げます。今後も本調査を通じて、東日本大震災・津波に伴う長期健康影響を評価し、大規模自然災害後の健康の維持・増進に役立つ情報を発信してまいります。

TMM計画のもう一つの柱は、岩手・宮城両県で調査にご協力いただいた15万人の皆様の生体試料や情報 (ゲノム情報だけでなく、検査情報、疾患発症情報を含む) を有する国内最大級のバイオバンクです。これまで厳格な審査の下、本学を含む国内外の研究機関や企業の皆様に利活用いただいております。今後は、これらの研究基盤を用いて、学内の皆様の利活用をより促進し、岩手医科大学発の研究成果の発信に尽力してまいります。今後とも皆様のご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

永年勤続者表彰式が行われました

6月10日（火）、大堀記念講堂において、永年勤続者表彰式が行われました。本年度の表彰者は勤続30年の方が23名（写真上段）、勤続20年の方が39名（写真下段）でした。式典では、祖父江理事長より勤続30年代表のリハビリテーション部 佐藤 真一 主任理学療法士と勤続20年代表の薬理学講座情報伝達医学分野 平 英一 教授に表彰状と記念品が授与されました。これを受けて、ICUの石森 由樹 看護師長（勤続30年）が謝辞を述べ、式典終了後に壇上にて記念撮影を行いました。



勤続 30 年

及川 利枝子
石川 麻湖
石森 由樹
及川 みどり

及川 涼子
大久保 真奈美
大田 美知子

加藤 里絵
佐々木 幸子
佐々木 美由紀
佐々木 由希子

佐藤 悦子
佐藤 真一
佐藤 美和子
澤田 幸司

高橋 美香子
多田 直子
永野 桂子
花岡 克洋

藤原 淳一
藤原 由美子
松木 雪恵
村野 恵美子

計 23 名

（所属・敬称略、五十音順）



勤続 20 年

岩動 美奈子
井上 博子
大崎 新太郎
大志田 絵美
小野寺 清芽

小宅 達郎
鍵谷 忠慶
木村 英二
木村 佳奈子
熊谷 達也
小赤沢 邦子

小泉 淳一
高圓 麻里
駒切 洋
佐藤 美香
須貝 可奈
鈴木 康德

駿河 あつ子
外川 洋子
平 英一
武部 典子
丹野 高三
豊岡 沙月

永井 亜弥
中軽米 菜都美
中野 智子
浪岡 真弓
野中 千尋
箱崎 芳枝

番田 麻衣子
東山 誠子
平賀 悠里江
藤井 早矢香
藤村 尚子
三浦 頌太

弥勒地 雅子
吉田 明奈
吉野 明仁
和田 充弘

計 39 名

（所属・敬称略、五十音順）

特集

岩手医科大学を支える 新たな仲間たち

令和7年度 新入職員辞令交付式

令和7年度は99名の新入職員が岩手医科大学の一員となりました。

本号では各職種代表1名に医療現場で働いた感想、今後の目標等をお聞きしましたのでご紹介します。

新入職員紹介

令和7年度は事務員2名、薬剤師2名、臨床検査技師4名、診療放射線技師1名、理学療法士4名、作業療法士1名、言語聴覚士3名、臨床工学技士2名、視能訓練士2名、歯科衛生士2名、調理師1名、教員1名、技術員1名、看護師73名の合計99名が岩手医科大学の一員になりました。各職種の代表1名にインタビューしましたのでご紹介します。



事務員

藤野 一成 さん
(歯学部教務課)

Q 出身

岩手県一関市

Q 趣味 (休日の過ごし方)

旅行、野球観戦

Q 初任給は何に使ったか

服を買いました。

Q 自慢ポイントは？

初対面の人でも仲良くできることです。

Q 岩手医科大学を志望した理由は？

私は「地域の支えになりたい」という思いから、本学を志望しました。大学と地域の方を結ぶ懸け橋となり、大学内を繋ぐ役割として貢献したいと感じました。

Q 医療現場で働いてみてどうですか？

学生や先生方などたくさんの方々と関わることができ、やりがいを持って仕事ができています。

Q 今後の目標

まずは自分に割り振られている業務を完璧に遂行できるようにしたいです。



薬剤師

佐々木 愛華 さん
(薬剤部)

Q 出身

福島県

Q 趣味 (休日の過ごし方)

読書

Q 初任給は何に使ったか

両親への贈り物

Q 自慢ポイントは？

体力。盛岡と矢巾を徒歩で往復できます！

Q 薬剤師を目指したきっかけは？

薬が持つ力に惹かれたからです。薬は適切に使えば人の体調を整え、回復へと導く力を持っていますが、使い方を誤れば毒にもなり得るものです。だからこそ、正しい知識を持って患者さんを支える存在になりたいと考えました。

Q 医療現場で働いてみてどうですか？

想像以上に緊張感がある環境だと感じています。患者さんの命に関わる責任の重さを実感する場面が多く、知識だけではなく、適切な判断をする力も大切だと痛感しています。

Q 今後の目標

まずは基本的な業務の一つひとつ確実にこなせるようになることが目標です。日々の業務を通して経験を積みながら、知識と判断力を身に付け、将来的には精神科領域に強い薬剤師を目指します。



臨床検査技師

中田 碧乃 さん
(中央臨床検査部)

Q 出身

岩手県盛岡市

Q 趣味 (休日の過ごし方)

ドラマ鑑賞、読書、言語学習

Q 初任給は何に使ったか

本

Q 自慢ポイントは?

物事を継続できることです。

Q 臨床検査技師を目指したきっかけは?

高校生の進路を決めるとき。医学の分野に興味があり、医療職種の中でも特に惹かれたからです。

Q 医療現場で働いてみてどうですか?

自分の判断や行動が人の命に大きく影響する責任の重たさを感じ、日々自分自身を更新できるように学び続けていきたいと思いました。

Q 今後の目標

単に検査結果を返すのではなく、臨床的価値を含めて臨床に還元できるような臨床検査技師を目指していきたいです。



診療放射線技師

尾瀬 陽菜 さん
(中央放射線部)

Q 出身

宮城県仙台市

Q 趣味 (休日の過ごし方)

お菓子作り

Q 初任給は何に使ったか

貯金、生活費

Q 自慢ポイントは?

手先が器用

Q 診療放射線技師を目指したきっかけは?

高校生のとき、オープンキャンパスで診療放射線技師の仕事を知り、興味を持って目指すようになりました。

Q 医療現場で働いてみてどうですか?

実習で見た内容とは異なることも多く、また実際に学生時代に学んだ知識を現場で確認でき勉強になります。

Q 今後の目標

不慣れなことが多いですが、日々の業務から知識や技術を身につけ、一人前として活躍できるよう努力します。



理学療法士

古舘 芳 さん
(リハビリテーション部)

Q 出身

岩手県八幡平市

Q 趣味 (休日の過ごし方)

旅行

Q 初任給は何に使ったか

家族とご飯

Q 自慢ポイントは?

ご飯をたくさん食べること

Q 理学療法士を目指したきっかけは?

陸上練習で怪我をした時に、親身に寄り添ってリハビリをしていただいた理学療法士の姿に憧れを抱いたからです。

Q 医療現場で働いてみてどうですか?

患者さんの身体状況を維持・改善するために任務を全うするという責任感を強く感じました。

Q 今後の目標

実際に臨床に出て経験しなければ分からないことが多いが、様々な経験を積み重ね、スキルアップしていきたいです。



作業療法士

小野寺 秀太 さん
(リハビリテーション部)

Q 出身

宮城県気仙沼市

Q 趣味 (休日の過ごし方)

植物や服を買いに出かけること

Q 初任給は何に使ったか

家族との外食

Q 自慢ポイントは?

ギターとスポーツが得意です。

Q 作業療法士を目指したきっかけは?

作業療法士の手工芸やレクリエーションを患者さんと実施する業務内容に魅力を感じたため作業療法士を目指しました。

Q 医療現場で働いてみてどうですか?

想像していた通り、業務は多忙ですが日々患者さんからの感謝のお言葉をいただくたびにやりがいを感じています。

Q 今後の目標

病院の理念に基づき、本病院で行える作業療法士の役割を全うすることです。



言語聴覚士

菅原 藍花 さん
(聴覚室)

Q 出身

岩手県一関市

Q 趣味 (休日の過ごし方)

カフェに行くこと

Q 初任給は何に使ったか

家族とごはんに行きました。

Q 自慢ポイントは？

ピアノが弾けます。

Q 言語聴覚士を目指したきっかけは？

言語聴覚士は、「食べる」「話す」「きく」等の生きていく中で必要不可欠な能力にアプローチし支援していく魅力的な職業だと感じたからです。

Q 医療現場で働いてみてどうですか？

知識だけではなく患者様への対応など、様々な場面で臨機応変に対応できるようになるために、まだまだ学ぶべきことがあると感じています。

Q 今後の目標

知識や経験、技術をしっかりと身に付けていき、患者様一人一人に寄り添って支援できるような言語聴覚士になれるよう努力していきます。



臨床工学技士

近藤 大輔 さん
(臨床工学部)

Q 出身

宮城県栗原市

Q 趣味 (休日の過ごし方)

映画鑑賞

Q 初任給は何に使ったか

家族にワインやビール等のお酒をプレゼントしました。

Q 自慢ポイントは？

誰よりも美味しいハヤシライス作ることができます！

Q 臨床工学技士を目指したきっかけは？

医療職の母の影響で医療に興味を持ち、中でも命を支える医療機器を扱う臨床工学技士の仕事に魅力を感じ、志すようになりました。

Q 医療現場で働いてみてどうですか？

大変だと感じることも多いですが、実際に患者さんと関わり回復に貢献できることに大きなやりがいを感じています。

Q 今後の目標

まず、第一に業務を一つ一つ確実に覚えて、先輩方に少しでも早く追いつけるよう努力していきたいと考えています。



視能訓練士

梅村 心 さん
(視能訓練室)

Q 出身

岩手県滝沢市

Q 趣味 (休日の過ごし方)

映画鑑賞

Q 初任給は何に使ったか

友人と食事

Q 自慢ポイントは？

水泳全種目泳げること、クラリネットを演奏できる。

Q 視能訓練士を目指したきっかけは？

幼いころから眼科に通っていて、この職種を知り、多くの年齢層に需要があり社会的貢献度も高い職業だと思ったからです。

Q 医療現場で働いてみてどうですか？

様々な患者さんがいる中でとても大変ではありますが、やりがいと責任感がある仕事だと感じました。

Q 今後の目標

日々の業務を行う中で患者さんに安心して検査を受けていただくため、技術・疾患等の知識をつけたいです。



歯科衛生士

佐々木 結羅 さん
(歯科衛生部)

Q 出身

岩手県岩泉町

Q 趣味 (休日の過ごし方)

音楽を聴く、整体に行く、

ボランティアへの参加

Q 初任給は何に使ったか

家族や地元でお世話になった方へプレゼント

Q 自慢ポイントは？

小学校～専門学校までの皆勤率 99%

Q 歯科衛生士を目指したきっかけは？

もともと医療職に興味があり、特に人の笑顔を守る歯科衛生士の仕事に魅力を感じたからです。

Q 医療現場で働いてみてどうですか？

毎日が学びの連続で、先輩方のサポートに支えられながら、患者さんとの関わりを通じてやりがいを感じています。

Q 今後の目標

積極的に学び続け、技術の向上だけでなく患者さん一人ひとりに寄り添える歯科衛生士になりたいです。



看護師

千葉 里々憧 さん

(東7階A病棟)

Q 出身

岩手県盛岡市

Q 趣味 (休日の過ごし方)

旅行、ドライブ、買い物、
動画鑑賞

Q 初任給は何に使ったか

服やバックなど自分へのご褒美

Q 自慢ポイントは?

最近少しずつ家事をしていること (実家暮らし)

Q 看護師を目指したきっかけは?

小学2年生の時、外出先で怪我をした際、その場にいた看護師さんがすぐに手当てをしてくださり、かっこいいなと思ったからです。

Q 医療現場で働いてみてどうですか?

今の知識では患者さんを見ることは難しいと思いました。患者さんの病態の理解を深め、患者さんの状態、今後起こりうることなど知るべきであると感じています。そしてなにより、覚える業務が多い為、自己学習し早く覚えたいです。

Q 今後の目標

看護師や医師、患者さんなど周りから信頼されるような看護師になることです。社会人としての責任を持ち、安心安全な看護を患者さんに提供したいです。



助産師

遠藤 希梨 さん

(西7階A病棟)

Q 出身

岩手県盛岡市

Q 趣味 (休日の過ごし方)

買い物をすることが好きです。これいいかもと思った物はつい買ってしまうです。

Q 初任給は何に使ったか

欲しかった物や食べたいものを買い自分を甘やかしました。来月は親孝行します!

Q 自慢ポイントは?

子どもに好かれます。小さい頃から外出すると知らない子どもがついてきたり、、ということがよくありました。

Q 助産師を目指したきっかけは?

小学校の頃に従姉妹が誕生し、助産師という仕事や命の誕生について興味を持ち自由研究で調べたことがきっかけです。

Q 医療現場で働いてみてどうですか?

新しい命が誕生する瞬間や家族が笑顔で赤ちゃんを迎える姿は、何度立ち会っても感動しやりがいを感じます。

Q 今後の目標

今後、壁にぶつかることがあったとしても自分の描く助産師像を忘れずに毎日元気に出勤し笑顔でケアをしていきます。

新入職員へ激励の言葉

新職員の皆様、学校法人岩手医科大学への就職おめでとうございます。全職員を代表して歓迎いたします。

学校法人岩手医科大学は教育、研究機関であるとともに医療施設でもあります。新職員の皆様はこの3つの部署のいずれか、あるいは3つの部署を包括する部署に配属になっていると思います。特に、附属病院等の医療施設に配属された方々は「患者さんは病院職員を医療職であろうと事務職であろうと病院の一員とみている。病院職員一人ひとりの行動は、附属病院全体に対する評価となる。」ということをご十分認識していただくことをお願いいたします。専門職でなくても、患者さん等に尋ねられた時に「私は医療専門職ではないから、そんなことはわからない」とは言わず、必ずしかるべき職種に引き継いでください。一方で、学校法人岩手医科大学は私立ですので、国公立と異なり自力で財政基盤を強くし、経営していかなければなりません。つまり、学校法人岩手医科大学は教育、研究機関、医療施設ではありますが、健全な経済的運用が必須です。赤字が続けば、大学は存続できません。教育、研究機関、医療施設としての倫理観も大事ですが、経済観念も同じように重要です。ただし、配属された部署での方針あるいは考え方が誤っている、あるいはおかしいと思ったら、個人でどんどん発言して問題ありません。「慣習だから」「これまでそうだったから」は何の意味もありません。相手が私を含めて上司であろうと意見をいうのは大歓迎です。

最後に、新入職員の皆さんへアドバイスです。1. 判ることと判らないことをはっきりさせましょう。判らないという勇気、聞き返す勇気を持とう。2. 間違ったこと、違うと思うことの理由を考えよう。3. 相手が間違っていると思ったら、誰であろうと間違っていると言おう。ただし、くじけた時は休みましょう。また職場を出た瞬間に、職場のことはすべて忘れましょう。皆様が学校法人岩手医科大学の一員としてご活躍することを祈念いたします。



小笠原 邦昭 学長

学校法人岩手医科大学

〈令和6(2024)年度〉

決算

令和6年度は、学生収容定員未充足に伴う学納金収入の減少や世界情勢の変化に起因したエネルギー価格高騰、物価の上昇などが本学の財務状況に大きな影響を及ぼしました。このような厳しい状況下において、本学は、教育・研究・医療の質向上を目指し、各事業を推進しました。

また、補助金や研究費等の外部資金を積極的に獲得したほか、矢巾附属病院と内丸メディカルセンターそれぞれの病院

機能を最大限に活かし、経営基盤の更なる強化に努めました。

当期事業活動収支決算は、事業活動収入 561 億 6,094 万円から事業活動支出 607 億 1,248 万円を差し引いた△45 億 5,154 万円が基本金組入前当年度収支差額となり、矢巾附属病院関連等の基本金組入額△16 億 9,650 万円を計上したことにより、当年度収支差額は△62 億 4,804 万円となりました。

1 事業活動収支

(1) 事業活動収入

事業活動収入の合計額 561 億 6,094 万円は、前年度比 7 億 8,377 万円 (1.4%) 増加、予算比では 8 億 2,178 万円 (1.4%) 下回りました。

- ① 学生生徒等納付金 70 億 4,688 万円は、前年度比 1 億 607 万円 (1.5%) 減少しました。主な減少要因は、学生数の減少によるものです。
- ② 医療収入 424 億 4,766 万円は、前年度比 10 億 4,066 万円 (2.5%) 増加しました。附属病院（医科）と内丸メディカルセンター（医科）を合計した医科部門の医療収入は、前年度比 10 億 2,552 万円 (2.5%) の増加、附属病院（歯科）と内丸メディカルセンター（歯科）を合計した歯科部門の医療収入は、前年度比 1,514 万円 (1.4%) の増加となりました。
- ③ 補助金合計額は 33 億 6,379 万円で、前年度比 3 億 2,097 万円 (8.7%) 減少しました。

教育活動収入の経常費等補助金 31 億 6,244 万円は、前年度比 4 億 2,663 万円 (11.9%) 減少しました。また、国庫補助金として私立大学等経常費補助金 14 億 9,273 万円、医療研究開発推進事業費補助金（いわて東北メディカル・メガバンク機構）3 億 6,827 万円等、地方公共団体補助金として岩手県ドクターヘリ運航事業費補助金 3 億 2,376 万円、高度救命救急センター運営費補助金 2 億 5,619 万円等がありました。

特別収入の施設設備補助金 2 億 134 万円は、前年度比 1 億 566 万円 (110.4%) 増加し、大学改革推進等補助金（医師養成課程充実のための教育環境整備）1 億 2,800 万円、高度救命救急センター設備整備費補助金 5,000 万円等がありました。

(2) 事業活動支出

事業活動支出の合計額 607 億 1,248 万円は、前年度比 3 億 5,659 万円 (0.6%) 増加、予算比では 2 億 6,876 万円 (0.4%) 下回りました。

- ① 人件費 233 億 4,097 万円は、前年度比 1 億 4,928 万円 (0.6%) 増加しました。

給与、賞与及び所定福利費の合計 217 億 6,162 万円は、前年度比 716 万円 (0.03%) 減少し、退職金と退職給与引当金繰入額の合計 15 億 4,206 万円は、前年度比 1 億 7,231 万円 (12.6%) 増加しました。

- ② 医療経費 198 億 9,518 万円は、前年度比 3 億 3,359 万円 (1.7%) 増加しました。

医薬品費は、前年度比 7,307 万円 (0.7%) の増加、医療材料費は 2 億 5,201 万円 (3.0%) の増加、給食材料費は 852 万円 (3.8%) 増加しました。

医療収入に対する医療経費割合は 46.9% となり、前年度より 0.3% 減少しました。

- ③ 消耗品費 6 億 7,511 万円は、前年度比 2 億 2,008 万円 (24.6%) 減少しました。
- ④ 光熱水費は、重油料 3 億 1,430 万円、ガス料 4 億 2,165 万円、電気料 8 億 8,658 万円、水道料 1 億 2,893 万円の合計 17 億 5,146 万円となり、前年度比 1,040 万円 (0.6%) 増加しました。
- ⑤ 修繕費は、施設修繕費 1 億 3,717 万円、機器備品修繕費 2 億 2,187 万円、合計 3 億 5,904 万円となり前年度比 5,288 万円 (12.8%) 減少しました。
- ⑥ 業務委託費 61 億 1,862 万円は、前年度比 1 億 2,636 万円 (2.1%) 増加しました。

病院別では、附属病院（医科）34 億 5,477 万円、附属病院（歯科）876 万円、内丸メディカルセンター（医科）9 億 944 万円、内丸メディカルセンター（歯科）1 億 3,370 万円、その他 16 億 1,195 万円です。

- ⑦ 減価償却額 56 億 5,272 万円は、前年度より 4,165 万円減少しました。

- ⑧ その他の諸経費等は 27 億 6,121 万円となりました。主な内訳は、福利費 2 億 7,823 万円（学生福利費 3,199 万円、職員福利費 2 億 4,624 万円）、公租公課 1 億 8,925 万円（消費税 1 億 2,522 万円、法人税・事業税 2,038 万円、固定資産税・都市計画税 4,040 万円等）です。

- ⑨ 借入金利息により 5,956 万円を計上しました。

- ⑩ 資産処分差額 9,862 万円は、耐用年数が経過した資産未償却額の除却等です。

2 資本収支

(1) 資産の部

- ①施設関係支出 2 億 3,492 万円は、マルチメディア教育研究棟総合情報センターサーバー室電源増設工事による 1 億 7,213 万円等です。
- ②設備関係支出 6 億 2,624 万円は、教育研究用機器備品 6 億 1,221 万円等です。
- ③貯蔵品残高は、年度末に棚卸を行い調査した在庫分であり、医薬品・医療材料 8 億 5,404 万円、歯科貴金属 475 万円、合計 8 億 5,879 万円です。

(2) 負債、純資産の部

- ①退職給与引当金残高は、143 億 1,042 万円です。
- ②前受金残高 14 億 1,007 万円は、令和 7 年度入学生の学生生徒等納付金等です。

- ③預り金残高 9 億 9,917 万円は、源泉所得税 7,150 万円、県市町村民税 1 億 1,353 万円、私学共済掛金 1 億 6,039 万円等です。
- ④基本金は 16 億 9,650 万円を組入れし、1,341 億 1,350 万円となりました。
- ⑤当年度収支差額△ 62 億 4,804 万円と、前年度繰越収支差額△ 575 億 6,718 万円を合計した翌年度繰越収支差額は、△ 638 億 1,522 万円となりました。
- ⑥純資産の部合計（基本金＋繰越収支差額）は、前年度より 45 億 5,154 万円減少し、702 億 9,829 万円となりました。
- ⑦令和 6 年度末現在で作成する財産目録純資産額（資産総額－負債総額）は、702 億 9,829 万円です。

令和 6 (2024) 年度 事業活動収支計算書

(単位：千円)

区分	収入の部		支出の部	
	科目	金額	科目	金額
教育活動収支	学生生徒等納付金	7,046,882	人件費	23,340,974
	手数料	174,151	医療経費	19,895,180
	医療収入	42,447,659	消耗品費	675,110
	寄付金	665,095	光熱水費	1,751,455
	経常費等補助金	3,162,443	修繕費	359,035
	付随事業収入	1,297,986	業務委託費	6,118,618
	雑収入	1,099,903	減価償却額	5,652,715
教育活動外収支			その他の諸経費等	2,761,209
	教育活動収入計	55,894,119	教育活動支出計	60,554,296
	受取利息配当金	24,733	借入金等利息	59,562
特別収支	教育活動外収入計	24,733	教育活動外支出計	59,562
	資産売却差額	0	資産処分差額	98,617
	その他の特別収入	242,085	その他の特別支出	0
	特別収入計	242,085	特別支出計	98,617
	事業活動収入合計	56,160,937	事業活動支出合計	60,712,475
		基本金組入額合計	△ 1,696,501	
		当年度収支差額	△ 6,248,039	

令和 6 年度 資金収支計算書

(単位：千円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	7,046,882	人件費支出	23,204,632
手数料収入	174,151	諸経費支出	31,509,548
寄付金収入	663,312	借入金等利息支出	59,562
補助金収入	3,363,785	借入金等返済支出	1,540,000
資産売却収入	297	施設関係支出	234,918
付随事業・収益事業収入	1,297,986	設備関係支出	626,240
医療収入	42,447,659	資産運用支出	300,100
受取利息・配当金収入	24,733	その他の支出	4,226,290
雑収入	1,100,848	資金支出調整勘定	△ 3,195,143
前受金収入	1,410,070	翌年度繰越支払資金	10,245,529
その他の収入	10,163,161		
資金収入調整勘定	△ 10,780,994		
前年度繰越支払資金	11,839,786		
収入の部合計	68,751,676	支出の部合計	68,751,676

貸借対照表 (令和 7 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	83,991,986	固定負債	27,191,875
有形固定資産	78,893,630	流動負債	7,040,000
特定資産	4,904,498	負債の部合計	34,231,875
その他の固定資産	193,858	純資産の部	
流動資産	20,538,177	基本金	134,113,505
		繰越収支差額	△ 63,815,217
		純資産の部合計	70,298,288
資産の部合計	104,530,163	負債及び純資産の部合計	104,530,163

学校法人岩手医科大学

〈令和7(2025)年度〉

予 算

1 予算策定にあたって

近年、日本の大学は18歳人口の減少および物価高騰など外部要因により、厳しい経営環境に直面しています。また、附属病院を有する本学は、医師不足が顕著な本県において地域医療を提供する重要な役割を担っており、働き方改革の推進が求められている中、大学教職員や医師の確保を行い、質の高い教育・研究・診療を実践する大学としての使命も果たしていかなければなりません。

社会情勢が常に変化していく状況で、本学が適応し永続的かつ持続的に発展していくために、病院再編による新たな医療提供の充実化や引き続き魅力ある大学を実現することを念頭にゼロベース思考のもと、既存の事業を在り方

から見直していきます。

このような展望を踏まえ、2025年度予算においては、本学の状況を多角的に捉え、経営再建計画に基づき、健全な財政運営となるよう各事業を遂行します。収入面では、4学部を同一キャンパスに設置した医療系総合大学の強みを活かした戦略的な学生募集活動による学生定員の充足化を推し進めていきます。加えて、本学内外との連携を図り、補助金、外部資金の積極的獲得や医療収入の増収に努めます。支出については従前の踏襲ではなく、現存する事業の在り方を根本的に見直し、収入に見合う支出となるよう可能な限り圧縮した予算としました。

2 主な予算項目

2025年度事業活動収支予算(項目1～6)、資金収支予算(項目7～10)の主な項目について説明します。

収入予算は、学生生徒等納付金70億8,393万円(事業活動収入に占める割合11.6%)、医療収入477億5,707万円(同78.0%)、補助金32億7,219万円(同5.3%)を計上しました。これら3項目で事業活動収入の94.9%を占めています。その他の収入は30億9,616万円(同5.1%)を計上し、事業活動収入予算総額は612億935万円を計上しました。

支出予算では、人件費233億2,477万円(事業活動支出に占める割合37.1%)、医療経費(医薬品費、医療材料費、給食材料費)229億2,627万円(同36.5%)、教育研究用等の経費など166億1,481万円(同26.4%)を計上し、事業活動支出予算総額は628億6,585万円を計上しました。

以上に加えて、予備費2億円の支出と基本金△17億円の組入を計上したことにより、2025年度は△35億5,650万円の支出超過(赤字)を計上した予算策定となりました。

本学の財政は、事業活動収入の約78.0%を医療収入に委ねており、支出においては、人件費と医療経費で約73.6%を占めています。財政基盤の確立には引き続き医療収入の増収と医療経費の適正・効率化を念頭に入れ、教職員一人ひとりが経費全般の節減に努めていかなければなりません。

1. 学生生徒等納付金

学生生徒等納付金は、授業料、入学金、実験実習費、教育充実費、施設整備費からなっており、医学部49億832万円、

歯学部11億1,161万円、薬学部4億5,065万円、看護学部5億4,260万円、医療専門学校7,075万円、合計70億8,393万円を計上しました。

2. 医療収入

附属病院(内科)、内丸メディカルセンター(内科)、附属病院(歯科)、内丸メディカルセンター(歯科)を合計した医療収入予算は、入院収入331億2,302万円、外来収入144億2,031万円、その他の医療収入2億1,374万円、合計477億5,707万円を計上しました。

3. 補助金

教育活動収入として、私立大学等経常費補助金15億8,973万円、その他の国庫補助金5億7,029万円、また、地方公共団体補助金は10億3,382万円を計上し、合計31億9,384万円を計上しました。

この他、特別収入として、施設設備補助金7,835万円を計上しました。

4. 人件費

給与・諸手当・所定福利費などの人件費は218億5,713万円、また、退職金関係では14億2,976万円を計上して、その他を合わせ人件費は合計233億2,477万円を計上しました。

5. 医療経費

附属病院全体の医療経費として、医薬品費127億8,986万円(医療経費率26.8%)、医療材料費98億8,395万円(同20.7%)、給食材料費2億5,246万円(同0.5%)を計上し、医療経費は合計229億2,627万円(同48.0%)を計上しました。

6. 借入金等返済支出

市中金融機関からの借入金返済資金として 15 億 4,000 万円を計上しました。

7. 借入金等利息支出

市中金融機関からの借入金利息資金として 5,323 万円を計上しました。

8. 施設関係支出

矢巾附属病院再編改修費用として、合計 20 億円を計上しました。

9. 設備関係支出

病院経営改善に向けた取組みの推進に係る費用として 2,844 万円など、合計 6 億 778 万円を計上しました。

令和 7 (2025) 年度 事業活動収支予算書

(単位：千円)

区分	収入の部		支出の部	
	科目	金額	科目	金額
教育活動収支	学生生徒等納付金	7,083,930	人件費	23,324,770
	手数料	172,680	医療経費	22,926,270
	医療収入	47,757,070	消耗品費	612,600
	寄付金	644,520	光熱水費	1,762,000
	経常費等補助金	3,193,840	旅費	149,850
	付随事業収入	1,365,480	修繕費	278,760
	雑収入	851,500	業務委託費	5,755,210
			減価償却額	5,494,690
			その他の諸経費等	2,259,780
	教育活動収入計	61,069,020	教育活動支出計	62,563,930
教育活動外収支	受取利息配当金	26,120	借入金利息	53,230
	教育活動外収入計	26,120	教育活動外支出計	53,230
特別収支	その他の特別収入	114,210	資産処分差額	248,690
	特別収入計	114,210	特別支出計	248,690
	事業活動収入合計	61,209,350	事業活動支出合計	62,865,850

予備費	200,000
基本金組入前当年度収支差額	△ 1,856,500
基本金組入額合計	△ 1,700,000
当年度収支差額	△ 3,556,500

令和 7 (2025) 年度 資金収支予算書

(単位：千円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	7,083,930	人件費支出	22,674,420
手数料収入	172,680	諸経費支出	33,731,800
医療収入	47,757,070	借入金等利息支出	53,230
寄付金収入	642,820	借入金等返済支出	1,540,000
補助金収入	3,272,190	施設関係支出	2,000,000
付随事業・収益事業収入	1,365,480	設備関係支出	607,780
受取利息・配当金収入	26,120	資産運用支出	303,000
雑収入	851,500	その他の支出	4,407,270
前受金収入	1,428,410	予備費	500,000
その他の収入	10,395,980	資金支出調整勘定	△ 3,529,040
資金収入調整勘定	△ 10,960,320	翌年度繰越支払資金	10,252,940
前年度繰越支払資金	10,505,540		
収入の部合計	72,541,400	支出の部合計	72,541,400

詳細な説明・確認等を希望される方は、財務部経理課（内線 4555）まで照会願います。

花巻北高校の生徒が本学で学びを深めました

5月8日（木）、本学と連携講座協定を結んでいる花巻北高校の1年生218名が本学を訪れ、4学部の授業を体験しました。

今回、令和6年9月に協定を結んで以来初めての授業で、矢巾町からまちづくりに関する講演を聞いた後、4学部の模擬講義（生徒は一つ選択）、薬用植物園見学、研究室見学等を行いました。

今回の事業は、高校生が取り組む探究学習のテーマ探しを主な目的としております。今後は上位学年との連携も予定されており、学生にとって充実した探究学習が展開されていくことが期待されます。



田浦薬用植物園長の説明のもと行われた薬用植物園見学

薬学部白衣授与式が挙行されました

5月9日（金）、大堀記念講堂にて令和7年度薬学部白衣授与式が挙行されました。この式は、薬学部5年生が「薬学実務実習」を前に、臨床の現場へと一歩を踏み出す節目として行われるものであり、白衣を身にまとうことで、医療人としての自覚と責任感を新たに重要な機会です。

式では、河野薬学部長より「薬学実務実習に協力してくれる方々に感謝し、健康に留意して取り組んでください」と温かな激励の言葉が贈られました。来賓として出席された畑澤博巳・岩手県薬剤師会会長、工藤賢三・岩手県病院薬剤師会会長からも、将来を担う学生たちへの期待の言葉が寄せられました。

白衣と名札の授与の後、学生代表の菅原春香さんは「高度で良質な医療の実践と地域社会への貢献を目指し、誠心誠意、勉学と実習に取り組めます」と力強く決意を述べ、会場には静かな緊張感とこれから始まる臨床の現場に向けた真剣な空気が広がっていました。



代表学生宣誓

医療専門学校のオープンキャンパスが開催されました

令和7年度岩手医科大学医療専門学校の第1回オープンキャンパスが5月24日（土）、第2回が6月28日（土）に医療専門学校上ノ橋校舎で開催されました。高校生や保護者等多くの方々が来校され、総勢46名（第1回29人、第2回17人）が参加しました。

当日は、歯科衛生士の職業紹介や体験実習、在学生とのフリートーク等、多くの企画が用意され、好評を博しました。

今後のオープンキャンパス開催予定

第3回	第4回	第5回
7月19日（土）	9月6日（土）	10月4日（土）

※いずれも10時から12時



型取り材料を練る参加者

ふれあい看護体験が行われました

5月20日（火）、本学附属病院において、ふれあい看護体験が行われました。ナイチンゲールの誕生日である5月12日が「看護の日」に制定され、その日を含む日曜日から土曜日までを「看護週間」としていることから、様々な施設でふれあい看護体験が実施され、当院では平成4年から行われています。

今年は県内の高校生59名が参加し、実際のユニフォームに袖を通し緊張した面持ちで体験に臨みました。体験終了後、生徒たちからは「患者さんの症状にあわせたケアをしている看護師さんたちに感動した」「患者さんからの感謝の言葉がとても嬉しかった」といった感想が述べられ、将来の看護職を目指す気持ちが高まったようでした。



足浴体験を行った高校生ら

医療安全表彰・院内感染対策功労部署の表彰式が挙行されました

6月4日（水）、附属病院 10 階大会議室において、令和 6 年度医療安全・院内感染対策功労部署の表彰式が行われました。医療安全功労表彰 4 部署、院内感染対策功労 3 部署に対し、森野病院長から表彰状が授与されました。

医療安全功労表彰

- 医療福祉相談室（代表：玉川 聡子 係長）
- 総合保安対策室（代表：小野寺 憲一 室長）
- 西 8 階 B 病棟（代表：村上 幸子 主任看護師）
- 救急科（代表：中村 恵美子 看護師長）

院内感染対策功労表彰

- 西 10 階 A 病棟・B 病棟（代表：辛 尚彦 看護師長）
- 西 6 階 A 病棟（代表：畑 文子 主任看護師）
- 病院総務課（代表：佐々木 隆任 総括課長）



受賞代表者らによる集合写真

ライオンズクラブ国際協会様から寄付金が贈呈されました

6月18日（水）、本部棟 4 階大会議室において、ライオンズクラブ国際協会 332 - B 地区から「岩手医大眼珠銀行（アイバンク）」及び「小児がんの子どもたちへの支援」に対する寄付金が贈呈されました。

同協会からはアイバンクに対し毎年 100 万円以上の寄付金が贈られ今年は 1,524,163 円が贈られました。小児がんの子どもたちへは 310,977 円が贈られ令和 5 年度から続いています。小笠原学長は「アイバンクの活動資金、病気の子どもの励みになることに使わせていただく」と感謝状を贈りました。

贈られた寄付金はアイバンクの運営費や小児科病棟のイベント開催等に活用されます。



ライオンズクラブ国際協会の皆様と本学関係者

看護学部宣誓式が挙行されました

6月25日（水）、大堀記念講堂において、看護学部宣誓式が挙行されました。看護学部 3 年生 89 名が今年 8 月から来年 6 月まで長期の臨地実習（領域別実習）を行うにあたり、看護職者を目指す者としての誓いを立てることを目的に行われます。

式では、遠藤看護学部長、佐藤看護部長から学生一人ひとりへロウソクの灯が授与され、壇上に整列した学生全員による看護の道を志す宣誓が行われました。

出席した教職員及び保護者は新たな決意を胸に歩み始めた 89 名の門出を大きな拍手で祝福しました。



壇上に整列した学生ら

解剖体慰霊祭が行われました

6月28日（土）、大堀記念講堂において、第 88 回解剖体慰霊祭がしめやかに執り行われ、小笠原学長をはじめとする本学教職員と学生、ご遺族が参列しました。

慰霊祭では 75 霊（正常解剖 58 霊、病理解剖 14 霊、実践的手術手技向上研修 3 霊）の御霊に対する黙禱に続き、小笠原学長から祭詞、学生を代表して医学部 3 年生高橋希さんから慰霊のこたばが捧げられました。

式終了後、参列者全員による献花が行われ、ご献体された多くの方々へ深い感謝の意を表すると共にご冥福をお祈りしました。



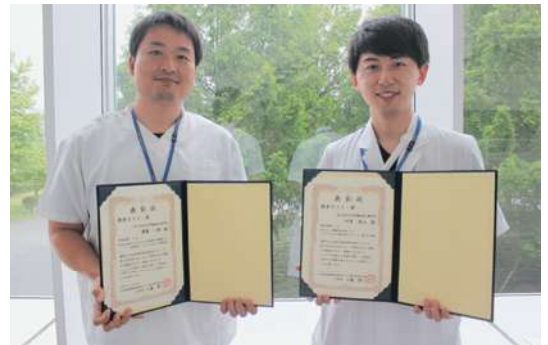
慰霊のこたばを捧げる高橋さん

表彰の栄誉

薬剤部の齋藤 一樹 薬剤師と村里 風太 薬剤師が 日本病院薬剤師会東北ブロック学術大会において優秀演題ポスター賞を受賞しました

2025年5月16・17日に開催された日本病院薬剤師会 東北ブロック第14回学術大会において、薬剤部の齋藤 一樹 薬剤師と村里 風太 薬剤師がそれぞれ優秀演題ポスター賞を受賞いたしました。

齋藤薬剤師は「NSAIDs併用下におけるVEGF阻害薬の有害事象リスク：自発報告データベースを用いた不均衡分析」という演題名で発表しました。本研究は、日常の臨床現場で直面する重要な課題に対し、自発報告データベースを用いた不均衡分析というアプローチで解析した点で、大変意義が大きいものと考えます。NSAIDsとVEGF阻害薬の併用における有害事象リスクの評価は、患者さんの安全を確保する上で非常に重要であり、その実用性と臨床への貢献度が高く評価されたものと考えます。



齋藤薬剤師、村里薬剤師

村里薬剤師は「RNA-seqと機械学習の統合によるパクリタキセルの効果予測バイオマーカー遺伝子の探索」という演題名で発表しました。本学薬学部情報薬科学分野と共同で取り組まれた本研究は、個別化医療の実現に向けた重要な一歩であると考えます。特に、RNA-seqと機械学習の2つの手法を統合することで、パクリタキセルの効果予測バイオマーカー遺伝子を探索された点は、その独創性と今後の発展性が高く評価されたものと考えます。

日頃よりご支援・ご指導いただいております諸先生方にこの場をお借りして心より感謝申し上げます。

(文責：薬剤部 薬剤部長 工藤 賢三)

岩手医科大学募金状況報告

本学の事業募金に対し、特段のご理解とご支援を賜りました皆様方お一人おひとりに、厚く御礼申し上げます。
ご支援いただいた皆様のご協力に感謝の気持ちを込め、ここにご芳名を掲載いたします。
今後とも格別なるご支援・ご協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。
※ご芳名及び寄付金額は、掲載を承諾された方のみ紹介しています。

学術振興資金募金

第28回目のご芳名紹介です。(令和7年4月1日～令和7年5月31日)

■ 法人・団体等 (2件)

<28,000,000>

株式会社 こずかたサービス (岩手県紫波郡)

<1,000,000>

医療法人 弘生堂 (長野県上田市)

区 分	申込件数	寄付金額 (円)
圭 陵 会	522	242,608,220
在 学 生 ご 父 母	398	95,830,000
役員・名誉教授	54	155,380,000
教 職 員	47	7,460,000
一 般	29	488,673,572
法 人・団 体	325	359,705,481
合 計	1,375	1,349,657,273

(令和2年9月1日～令和7年5月31日現在)

理事会報告（5月定例－5月26日開催）

1. 理事の競業について

2. 評議員の選任について（理事会選出分）

第1号評議員（卒業生区分）

医療法人共生会松園病院介護医療院長
河嶋 寛（再任）
医療法人小原クリニック理事長・院長
小原 紀彰（再任）
盛岡市立病院院長（盛岡市病院事業管理者）
加藤 章信（再任）
医療法人だいく歯科医院理事長・院長
大黒 英貴（新任）

第2号評議員（職員区分）

岩手医科大学附属病院副院長・看護部長
佐藤 悦子（再任）
岩手医科大学事務局長
山本 和博（再任）
岩手医科大学医学部小児科学講座教授・障がい児者医療学講座特命教授
赤坂 真奈美（新任）
（任期 2025年度定時評議員会終結の時から
2030年度定時評議員会終結の時まで）

3. 2024年度事業報告について

4. 2024年度決算及び監査報告について

5. 組織規程の一部改正等について

創立120周年記念事業の終了に伴い、「創立120周年記念事業実行委員会」を削除するとともに、4月1日施行の私立学校法及び寄附行為に基づき、「会計監査人」を追加することとし、組織規程を一部改正すること、併せて創立120周年記念事業実行委員会規程を廃止することを承認した。

廃止年月日 2025年5月26日（組織規程の創立120周年記念事業実行委員会の削除及び創立120周年記念事業実行委員会規程）

施行年月日 2025年度定時評議員会の終結の時（組織規程の会計監査人の設置）

6. 医学部入学定員等の臨時的な増加の取扱いについて

2026年度は地域の医師確保・診療科偏在対策等に有用な範囲に限り認める旨の通知があったことを受け、岩手県との協議の結果、引き続き地域枠での医師養成の要望があったことから、当該年度についても岩手県地域枠として35名の臨時定員増を行う方針とすることを承認した。

7. 内丸地区の医科診療体制について

内丸メディカルセンターの附属病院統合にあたり、附属病院での面積確保が困難であること、人員・医療機器等の経費が最小限に留まり診療科単体で収入を確保できること、内丸地区での診療継続を要望する患者への対応、学生実習・臨床研修医の実習場所の確保等を考慮し、リプロダクションセンター及び総合診療科外来を残存し、現在の内丸メディカルセンター入院棟を利用した体制とすることを承認した。

8. 附属病院統合に伴う病床再編について

内丸メディカルセンターの附属病院統合に係る附属病院の改修工事に伴い、医療スタッフの負担軽減並びに病床の効率的且つ高回転な運用を目的として、病床の再編成及び用途変更を行い、9月30日までに段階的に50床を削減することを承認した。

9. 附属病院患者駐車場等増設工事に係る業者選定について

内丸メディカルセンターの附属病院統合にあたり、患者駐車場及び障害者駐車場の増設並びに患者駐車場として活用する職員駐車場減台分等の代替駐車場を整備するため、6月1日から翌年3月20日までを工期予定とし、日本道路株式会社に発注することを承認した。

10. 定時評議員会の開催日時及び議題・議案等について

理事会報告（6月臨時－6月9日開催）

1. 理事の選任について

医学部長 下沖 収（再任）
（任期 2025年6月10日から
2028年度定時評議員会終結の時まで）

理事会報告（6月定例－6月30日開催）

1. 2025年度研究費予算について

2. 役職者の選任について

全学教育推進機構副機構長 高田 亮（新任）
（任期 2025年7月1日から3年間）

3. 教員の人事について

統合基礎講座微生物学講座
感染症学・免疫学分野 准教授
海部 知則（現 東北医科薬科大学医学部免疫学教室 准教授）
（発令年月日 2025年9月1日）

4. 岩手医科大学学則の一部改正について

2026年度から薬学部編入学者選抜（第4学年4月編入）を実施するにあたり、編入学に係る授業料等に薬学部を追加することとし、岩手医科大学学則の一部を改正することを承認した。

（施行年月日 2025年8月1日）

5. 歯学部・薬学部の特待生規程の一部改正について

歯学部・薬学部の特待生制度を明確にするため、文言の追記及び修正をすることとし、歯学部・薬学部特待生規程の一部を改正することを承認した。

（施行年月日 2025年7月1日）

6. 附属病院東7B病棟等改修工事に係る業者選定について

内丸メディカルセンターの附属病院統合に伴い、東7B一般入院病棟の一部を外来化学療法室等に改修する他、内丸メディカルセンターのMRI装置の移設にあたり、1階放射線診断エリアにMRI室等を増設するため、7月1日から翌年6月30日までを工期予定とし、清水建設株式会社に発注することを承認した。

7. 理事の競業について

岩手医科大学報編集委員

祖父江 憲治	畠山 正充
影山 雄太	藤村 尚子
松政 正俊	高橋 慶
齋野 朝幸	阿部 俊
藤本 康之	杉下 佳子
白石 博久	石森 由樹
佐藤 泰生	高橋 淳美
佐藤 仁	伊藤 祥子
藤澤 美穂	稲垣 学人
塩山 亜紀	高橋 美季子
細田 留美子	松田 悠史

編集 後記

この号がみなさんのお手元に届く頃には、梅雨も明け、本格的な夏が到来し、どれほどの暑い夏を迎えているでしょうか？今号の特集は、4月に迎えた新人職員の紹介です。まるで夏の太陽のようにまぶしいですね。夏と聞いて連想するもの…夏祭り、花火大会、スイカ、かき氷、バーベキュー、甲子園！水分補給、睡眠、食事、普段以上に気を配り、体調を崩さず、暑い夏を乗り切りましょう！

（編集委員 杉下 佳子）

岩手医科大学報 第560号

発行年月日／令和7年7月31日

発行／学校法人岩手医科大学

編集委員長／祖父江 憲治

編集／岩手医科大学報編集委員会

事務局／総務部 総務課

TEL. 019-651-5111 (内線5452、5453)

FAX. 019-907-2448

E-mail: kouhou@j.iwate-med.ac.jp

印刷／河北印刷株式会社

盛岡市本町通2-8-7

TEL. 019-623-4256

E-mail: office@kahoku-ipm.jp